



院長
伊藤 真理子
プロフィール

●(いとう・まりこ) 1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の
女性のいきカタ

子宮内膜症

女性にとって憂鬱な月経。中には症状がひどく、痛みから下痢や嘔吐を引き起こし、月経の度に寝込んでしまう方も。月経痛にお悩みの方は早めに医師にご相談を。深刻な病気が隠れていることもありますので。

20代から40代で急増

月経痛が辛いという方で心配なのが「子宮内膜症」で、20代から40代の女性を中心に急増している病気です。その発生メカニズムを簡単にご説明しましょう。

子宮の中には子宮内膜という組織があり、妊娠しないと剥離(はがれ落ちること)し、血液とともに月経となって体外に放出されます。ところがこの子宮内膜が骨盤や卵巣など子宮の中以外のあるところで増殖し、月経の際に増殖場所での出血を起こすのが子宮内膜症です。

症状は様々な痛み

原因は完全には究明されていませんが、誰しもがなりうる病気です。症状としては月経痛に加え、排便痛や下痢、性交痛、慢性骨盤痛などが現れます。

それも、痛い時もあれば楽な時もあるといった症状ではなく、だんだん痛みがひどくなるのが特徴です。月経がない妊娠期間中はいつたん落ち着きますが、昨今の妊娠の高齢化や少子化がこの病気が増加している背景にあるようです。

不妊症との関係

様々な痛みに加え、子宮内膜症の大きな問題点は不妊症との関係が指摘されていることです。内膜症によつて古い血液が骨盤内で癒着してしまうことが原因とされ、この癒着は一度生じれば自然には治らないと言われています。

現在では不妊症の原因の多くが子宮内膜症という報告もあります。

治療は飲み薬や手術など。将来の妊娠に差しさわりのないよう、心当たりのある方は注意が必要な病気です。



〈産婦人科〉
真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町6-35

- 診療時間
【平日】午前/8時30分～12時
午後/14時～17時
【土曜】午前/8時～12時
- 休診日
日・祝祭日
木・土曜日は午後休診となります。

